

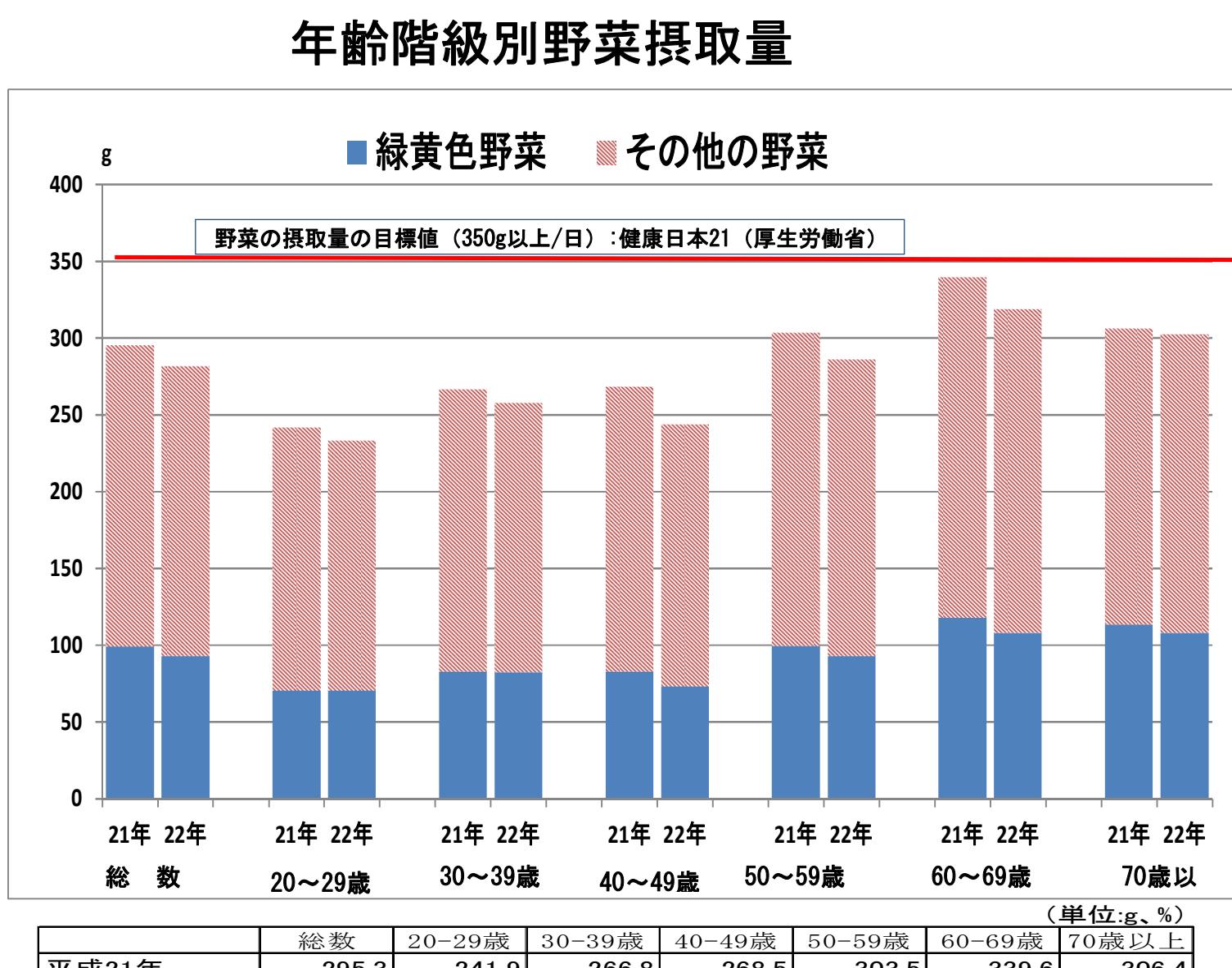
4 トピック 一 平成22年は、すべての年齢階級別で野菜摂取量が減少 一

国民健康・栄養調査によると、平成22年の1人1日当たりの野菜の摂取量は、281.7グラムとなり、前年に比べて5%減少した。

年齢階級別でみると、すべての階級で前年より減少し、かつ、野菜の摂取量の目標値を下回っている。中でも20代と40代は低い水準となっており、特に働き盛りの40代は前年より9%減少とかなり減少している。

一方、都道府県別の野菜摂取量を平成18年から22年までの平均でみると、東北南部、関東甲信等の東日本で多く、北海道、近畿、四国、九州の一部地域で少なくなっている。野菜摂取量が多い地域では、漬物購入量や世帯人数が多い傾向がみられ、そうしたことでも野菜摂取量に影響を与えると推測される。

健康日本21では、1人1日当たりの野菜摂取量の目標値を350グラムと定めている。今後はその達成に向けて、特に若者や働きざかりをターゲットにした消費拡大が重要となっている。

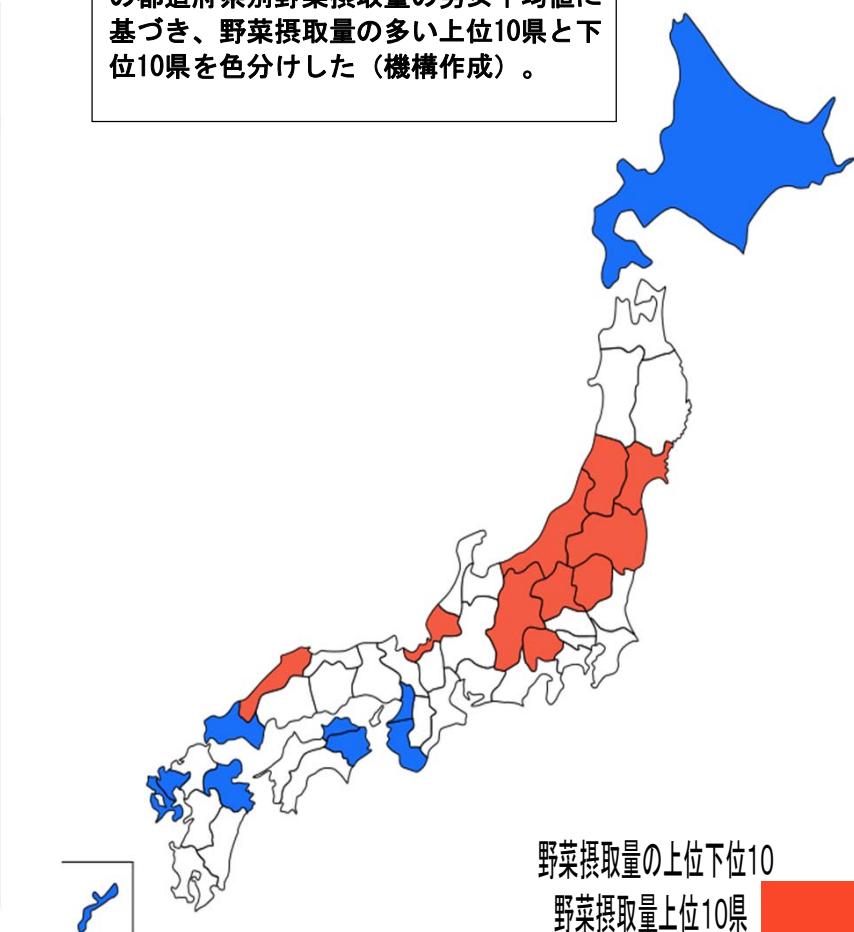


総数は、(20歳以上)の平均値

注) 野菜摂取量には、いも類は含まれていない。

都道府県別野菜摂取量

平成18~22年の国民健康・栄養調査結果の都道府県別野菜摂取量の男女平均値に基づき、野菜摂取量の多い上位10県と下位10県を色分けした（機構作成）。



資料：厚生労働省「平成22年国民健康・栄養調査結果」

●問い合わせ先 独立行政法人農畜産業振興機構 野菜需給部 需給業務課 村野、三部、須藤 TEL03-3583-9483、FAX03-3583-9484

◆「野菜の需給・価格動向レポート」は月2回公表しています。公表日にメールにてお知らせしますので、ご希望の方はベジ探のお問い合わせから <https://www.alic.go.jp/form/vegetan.html>

★野菜ソムリエの旬ナビゲーション「ベジシャス」 http://www.alic.go.jp/y-suishin/yajukyu01_000076.html